

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0046

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

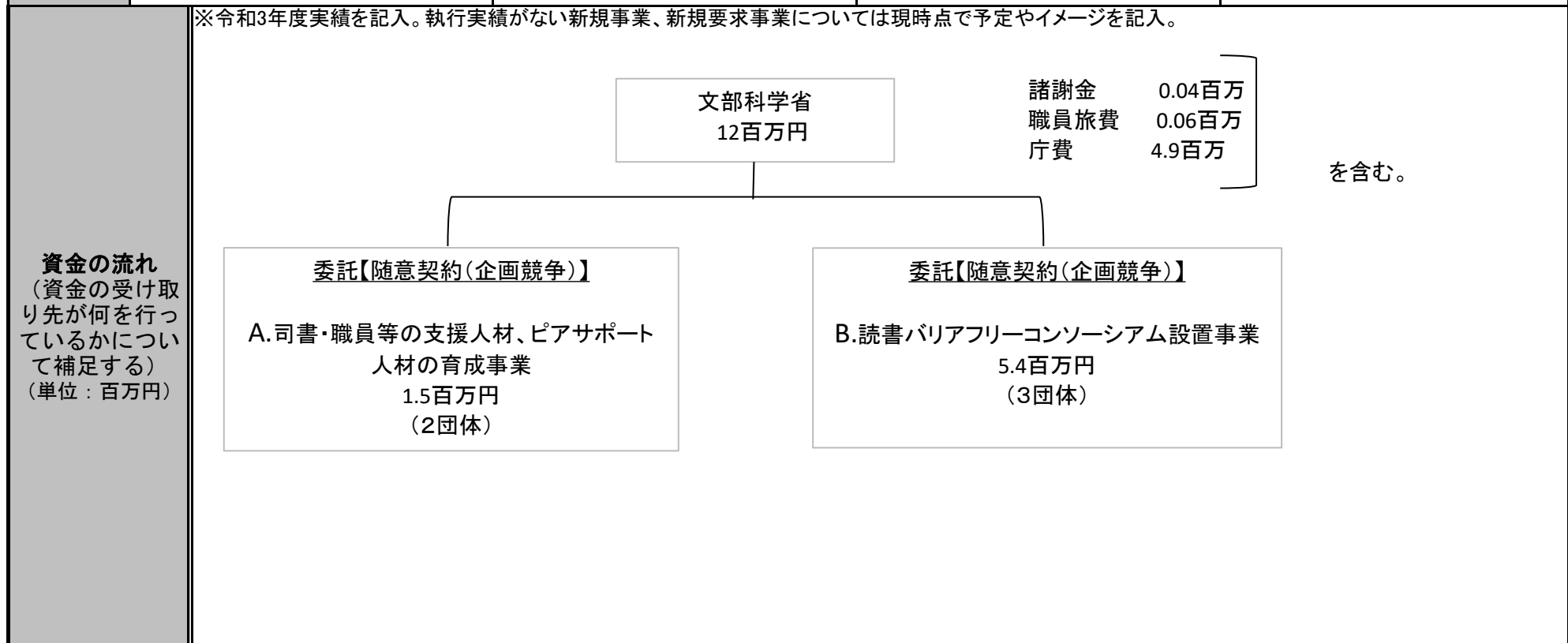
事業名	図書館における障害者利用の促進			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者		
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域学習推進課		地域学習推進課長 黄地 吉隆		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律 障害者の雇用の促進等に関する法律			関係する 計画、通知等	第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定) 第4次障害者基本計画(平成30年3月) 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な 計画(令和2年7月)				
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	平成30年の通常国会におけるマラケシュ条約の批准の承認や、平成31年度通常国会における「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)の可決・成立等を受けて、図書館職員等の支援人材の育成や、障害の有無にかかわらずすべての国民が等しく読書を行うことができる環境の整備を図る。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	視覚障害者等の図書館利用に係るサービスの充実を図るため、有識者、自治体、公立図書館、学校図書館、大学図書館等の関係者で構成される委員会を設置し、振興方策の検討や実態調査・事例の収集等を行う。 また、図書館職員・ボランティアが障害者サービスの内容を理解し、支援方法を習得するための研修や、読書支援機器(拡大読書器、DAISY再生機など)の使用法に習熟するための研修等を行う。加えて、障害者の図書館職員(ピアサポート人材)の育成や環境の整備を行う。 さらに、様々な館種の連携を図り、各館の資料の共有等を行う読書バリアフリーコンソーシアムのモデルを構築する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	17.4	16.5	14.1	12.7		
	執行額	0	13.8	12					
	執行率(%)	-	79%	73%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	79%	73%						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	教育政策推進事業委託費	7.9	8.3	令和5年度要求では、4年度予算の執行状況を精査した額を要求している。					
	庁費	5.3	3.4						
	委員等旅費	0.4	0.4						
	職員旅費	0.3	0.3						
	諸謝金	0.2	0.2						
	計	14	12.7						
活動内容 (アクティビ ティ)	公共図書館で障害者利用の促進に取り組む職員、ボランティア等の人材育成のための研修を委託事業により支援することでモデル構築し好事例の横展開をすることで図書館の障害者利用を促進する取組を支援する								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	公共図書館で障害者利用の促進に取り組む職員、ボランティア等の人材育成のための研修のモデル構築を行う	職員・ボランティア等の支援人材、ピアサポート人材の育成事業委託件数	活動実績	件	-	2	2	-	-
			当初見込み	件	-	3	2	-	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	職員・ボランティア等の支援人材、ピアサポート人材の育成事業執行額/実施機関数			単位当たり コスト	千円	-	1,599	760	1,840
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度
	サピエ図書館を利用している施設・団体数(公共図書館を含む)が増加する。	サピエ図書館会員登録団体数 ※目標値は実績及び事業計画を踏まえて設定	成果実績	団体	382	422	435	-	-
			目標値	団体	368	382	422	435	-
			達成度	%	104	110	103	-	-

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		サピエ図書館からの報告								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	点字図書等の保有数が全国の図書館で増加する	全国の図書館が保有する点字図書等冊数 ※目標値は実績及び事業計画を踏まえて設定	成果実績	冊	-	-	-	-	-	
			目標値	冊	-	-	390,168	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		社会教育調査(文部科学省)(令和3年度調査は令和5年度公開予定)								
活動内容 (アクティビティ)		先進的な障害者サービス等に関するシンポジウムの開催団体及びコンソーシアムを構築する公立図書館、点字図書館、学校図書館、大学図書館等を委託事業により支援することでモデル構築し好事例の横展開をすることで図書館の障害者利用を促進する取組を支援する								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	先進的な障害者サービス等に関するシンポジウムの開催団体及びコンソーシアムのモデル構築を行う	先進的な障害者サービス等に関するシンポジウムの開催件数(R3は読書バリアフリーコンソーシアムの設置件数)	活動実績	件	-	1	3	-	-	
			当初見込み	件	-	1	2	2	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	先進的な障害者サービス等に関するシンポジウム執行額/開催件数	単位当たり コスト		千円	-	5,128	1,794	6,080		
		計算式	千円/開催 数		-	5,128/1	5382/3	6080/1		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	大活字本の保有数が全国の図書館で増加する	全国の図書館が保有する大活字本冊数	成果実績	冊	-	-	-	-	-	
			目標値	冊	-	-	1,812,110	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		社会教育調査(文部科学省)(令和3年度調査は令和5年度公開予定)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	国立国会図書館から視覚障害者等用データ提供を受けている図書館数が増加する。	国立国会図書館によるデータ提供送信承認館数 ※目標値は実績及び事業計画を踏まえて設定	成果実績	団体	133	153	205	-	-	
			目標値	団体	108	133	153	205	-	
			達成度	%	123	115	152	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		国立国会図書館からの報告								
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画と の 関係	政策評価	政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進							
		施策	1-5 家庭・地域の教育力の向上	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-5.pdf					
	取組事項	分野:	-							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:								
		該当箇所								
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の 必要性	項目				評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	本事業は、「読書バリアフリー法」に基づく、視覚障害者等の図書館利用に係るサービスを提供する体制の整備や、図書館における障害者の雇用の拡大を図るものであり、社会のニーズを反映している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	本事業は、図書館における障害者サービスの実態調査や事例の収集等を行い、その成果や事例を全国へ普及するものであるため、国が総合的に推進していく必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	本事業は、「読書バリアフリー法」に基づく、障害の有無にかかわらずすべての国民が等しく読書を行うことができる環境の整備や、障害者の雇用の拡大のために必要な事業であり、優先度が高い。				

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業の実施に当たっては企画競争を行い、競争性を確保しながら優れた提案について採択を行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業経費が効率的に執行されるよう、委託要項等において、委託費の使途を明確化するなどにより、単位当たりコストの削減に引き続き努める。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は謝金、委託経費等、真に必要な経費に限定されている。
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	新型コロナの影響により、オンライン開催になるなどの事業内容の見直しがあったため、不用額が生じたところである。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	事業の実施内容については、審査委員会等において、経費の費目・使途を審査するなど、その必要性についてチェックを行っており、コスト削減や効率化に努めている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	概ね見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	オンライン開催に変更したことなど低コストで効果的に実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	実績見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	事業成果はHPでの公表するなど、十分活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-
	事業番号		事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「読書バリアフリー法」に基づき、図書館職員等の育成や、読書バリアフリーコンソーシアムの設置など、障害の有無にかかわらずすべての国民が等しく読書を行うことができる環境の整備を図る事業であり、事業を実施するに当たっては事業経費の効率的な執行に努めつつ、事業の効果が最大限得られるように取り組んでいく必要がある。		
	改善の方向性	事業の重要性や目的を踏まえ、適正な契約手続きを行うとともに、事業経費の効率的な執行を図り、且つ効果的な事業成果が得られるように努める。		
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
の事業部内改容	この事業はおおむね計画通りに執行されたものと考えられるが、この事業は前年度に引き続き不要が生じているため、令和5年度概算要求においても不用額についての要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に反映すべきである。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
縮減	施策目標の達成に向けて、令和5年度においては1,409千円の減額要求を行った上で、引き続き、コスト削減に留意しつつ、継続的に事業の適切な執行に努める。			
備考				

関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	-			
平成30年度	-			
令和元年度	文部科学省 - 新32 - 0004			
令和2年度	文部科学省 新02 0004			
令和3年度	2021 文科 20 0045			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.国立大学法人 大阪教育大学			B.国立大学法人 東京大学		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
諸謝金	研修の講師謝金	0.5	雑役務費	ウェブサイト制作	1.1	
消耗品費	トナーカートリッジ	0.2	人件費	事例分析担当者賃金	0.7	
旅費	講師等の会場までの旅費	0.1	諸謝金	コンソーシアム事業関係者会議出席謝金	0.4	
借損料	会場利用料	0	一般管理費	委託費×10%	0.2	
一般管理費		0	消費税相当額	人件費総額及び謝金不課税分×10%	0.1	
			通信運搬費	郵便切手	0	
計		0.9	計		2.5	

